

# 公益財団法人東海村文化・スポーツ振興財団 令和3年度事業報告書

当財団は、東海村における文化事業及びスポーツ事業に対する推進支援等を行うことにより、文化・スポーツの振興と発展並びに健康で心豊かなまちづくりとうるおいのある地域社会の創造に寄与するために、文化・スポーツ振興に資する各種事業を実施いたしました。

## 公益目的事業 1 東海文化センターにおける文化芸術振興事業

### 1. 施設の管理運営

前年度から続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年8月18日から9月26日まで40日間に渡り施設を臨時休館したほか、それ以外の期間においても地域の感染者数の増大や村内学校の臨時休校等の状況を鑑み、年間を通して施設の利用人数・方法等に制限を設けたなかでの管理運営となりました。

施設の管理運営においては、施設内への手指消毒液の設置や定期的な換気・消毒作業の実施、マスク着用を促す掲示物の掲出など、基本的な感染防止対策を継続しつつ、利用者には本施設の感染拡大防止ガイドラインを踏まえた利用ルール・方法を提案し、ともに対策を実践する形で、安全・安心に施設を利用いただくための環境づくりを行いました。

併せて、施設の老朽化への対応が課題となるなか、施設・設備の継続的かつ計画的な保守点検・修繕更新等に引き続き取り組むとともに、今後も良好な施設・設備の維持と長寿命化に向け、東海村との協議を進めてまいります。

#### (1) 利用実績

	令和3年度			前年度		
	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)
ホール	162	13,604	64.0	130	9,264	63.7
大会議室	152	5,767	81.0	109	3,197	67.1
会議室 1	26	355		18	263	
会議室 2	36	429		28	442	
和室	55	118	20.8	34	223	15.9
使用料※	1,476,620 円			803,180 円		

※施設使用料は全額東海村へ納付

#### (2) 維持管理運営及び環境整備

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による臨時休館や催事の中止・自粛等に加え、本施設ガイドラインによる利用人数制限の影響により、各施設ともに利用実績は平常時と比べて大きく減少しておりますが、上表のとおり前年度との対比においては利用が増大しており、回復傾向が見られます。

一方、施設の環境整備においては、経年劣化への対応としてホール舞台照明・調光設備の部品交換・更新やステージ床面の部分張替等を行ったほか、駐車場の外灯修繕や冠水解消、楽屋トイレ給排水部の修繕等を行いました。

### 2. 文化自主事業

#### (1) 鑑賞事業（4事業7公演）

『吉田正記念オーケストラ』による吉田正生誕100周年記念コンサート、若手お笑いタレントらによる『爆笑ライブ』、宝くじの助成により安価な入場料で公演鑑賞の機会を提供する『宝くじ文化公演 吉田兄弟×レ・フレール』を開催。感染防止対策により、各公演ともにホールの座席数を通常の半分以下に設定しての開催となりましたが、それぞれ有効座席の85～100%の入場者を獲得することができました。また、新作・話題作を上映する恒例の映画上映会『東海ワンコイン劇場』では、村内小学校の臨時休校に伴う子供向け作品の上映日の変更が生じたものの、計画した全4作品を上映することができました。

一方、げんでん ふれあい茨城財団との共催事業『げんでん ふれあい文化講演会』のほか、当初計画しておりました3事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止を余儀なくされました。

### (2) 文化活動の支援及び普及・育成事業（5事業4公演）

前述の鑑賞事業と同様、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により当初計画していた2事業が中止となりましたが、ホール設置のグランドピアノを個人練習用に開放する『グランドピアノ開放事業』、東海村にゆかりのあるアーティストの活動を地域に紹介する『東海村のアーティストをご紹介しますコンサート』、地域のピアノ愛好者による発表会『ピアノマラソンコンサート』のほか、村産業・情報プラザを会場とするアウトリーチ事業『バギーのままコンサートスペシャル』『Tokai Jazz Night』を加えた5事業を開催。それぞれ入場者数の制限や感染防止対策に伴う実施形態の変更を行った上での開催となりましたが、コロナ禍においても文化活動の魅力や楽しさを伝えるさまざまな機会を提供することができました。

### (3) 村内の文化団体との連携・協働

事務局を司る東海村文化協会との連携においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による一部事業の中止や縮小があったものの、村文化祭・芸術祭や子ども芸術祭、夏休み子ども作品教室などの主要行事をはじめ、大部分の協会行事を予定どおり開催しました。感染防止対策により通常とは異なる実施形態となった事業が多いなかでも、可能な限り従来に近い形で実施できるよう検討を重ねた上で開催し、文化活動を通して数多くの地域住民が集う場を提供することができました。

また、活動の支援を行う東海村吹奏楽団や劇団とみかる、東海村少年少女合唱団に対しては、コロナ禍における公演活動に対する助言・協力を行い、各団体ともに有観客のホール公演を開催することができました。一方、このコロナ禍において管楽器演奏や歌唱・合唱を伴う活動への制限・自粛が続いたことで、練習や地域イベント出演など通例の活動・行事に支障が生じており、この活動停滞からの脱却が今後に向けた課題となっています。

#### <令和3年度文化自主事業一覧>

	事業名	公演日	会場	来場者	
鑑賞事業	吉田正記念オーケストラ	11/20(土)	東海文化センター	356名	
	爆笑ライブ カミナリ・エイトブリッジ・パーパー・吉住・錦鯉・ランジャタイ	12/11(土)	東海文化センター	306名	
	宝くじ文化公演「吉田兄弟×レ・フレール」	3/5(土)	東海文化センター	372名	
	東海ワンコイン劇場 2022	「いのちの停車場」	2/5(土)	東海文化センター	146名
		「ヒノマルソウル～舞台裏の英雄たち～」	2/6(日)	東海文化センター	46名
	「竜とそばかすの姫」「劇場版ポケットモンスター ココ」	3/19(土)	東海文化センター	332名 (各1回)	

普及・育成事業	バギーのままコンサートスペシャル in アイヴィル Vol.6 PAN NOTE MAGIC(スティーレルパン楽団)	8/8(日)	産業・情報プラザ	81名
	第5回東海村ピアノマラソンコンサート	10/3(日)	東海文化センター	出演 59組 来場 333名
	東海村のアーティストを紹介するコンサート Vol.7 山田涼子(オーボエ)、村上さくら(クラリネット)	10/9(土)	東海文化センター	219名
	Tokai Jazz Night 2021 in iVil 武田愛 with カルテット	10/17(日)	産業・情報プラザ	73名
	グランドピアノ開放	通年 (全31日間)	東海文化センター	延 292名

## 公益目的事業 2 駅コミュニティ施設における文化芸術振興事業

### 1. 施設の管理運営

前年度から続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、東海ステーションギャラリーは令和3年8月18日から9月26日までの40日間に渡り臨時休館となりました。この期間を除いては前年度の対応に引き続き、展覧会主催者と連携した感染防止対策の徹底とともに、ギャラリー来場者の滞在時間に制限を設けての予約貸出を行いました。

また、自由通路や待合室、昇降機(エスカレーター・エレベーター)、トイレ等の駅コミ施設全体の管理・保守点検を継続的・計画的に実施しました。

併せて、ギャラリー運営に関連する活動として、村内各所へ設置する野外彫刻作品の定期的な補修・洗浄等を行う維持管理事業に取り組みました。

#### (1) 利用実績

	令和3年度			前年度		
	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)
ギャラリーA	249	12,016	75.0	134	7,040	48.6
ギャラリーB	96	5,238	28.9	70	3,413	25.4
使用料※	514,000円			308,000円		

※施設使用料は全額東海村へ納付

#### (2) 維持管理運営及び環境整備

前述のとおり夏季の臨時休館があったものの、ギャラリーA・Bともに例年を大きく下回った前年度と比べて利用日数・人数が増大し、特に利用日数については直近の平常時の7～8割程度にまで回復しました。本施設において毎年慣例的に展覧会等を開催してきた利用者の大部分が利用を再開したことが、この回復の要因と考えます。引き続き、利用者・来場者の皆様が安心して利用いただけるよう、本施設の感染防止対策の徹底に努めてまいります。また、駅コミ施設の維持管理・環境整備として、施設排煙窓や排水ポンプ・エレベーター定期交換部品等の更新のほか、不具合の発生したトイレ洗面台・照明センサーの修繕・ベビーチェアの更新を行いました。

加えて、コロナ禍に伴う感染防止対策の更なる充実を図るべく、施設来場者個々の体温測定を行う体温検知器2台を財団備品により整備し、事業開催における来場者の体温確認等に活用しています。

### 2. ギャラリー自主事業

(1) 鑑賞事業（1事業）

ギャラリー開館当初から継続開催する『芸大・茨大・筑波大卒業修了制作選抜展』への出品作家のその後の活動を紹介するシリーズ企画として、今年度は“木”を素材に創作活動を行う里佳孝さん・深澤慎太郎さん・槇野央さんの3名による企画展『木でつくる』を開催。作品展示に加え、関連企画として3名によるギャラリートークや制作工程映像の公開・解説、実技体験ワークショップといった試みを行い、作品や創作活動をより多方面から楽しむ機会を提供しました。

(2) 芸術活動の支援及び普及・育成事業（10事業）

前年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により数多くの事業が中止を余儀なくされましたが、今年度の事業中止は施設の臨時休館に伴う『金属ワークショップ』1事業のみに留まり、予定していた大部分の事業を開催することができました。

展覧会としては、施設を代表する恒例企画である『芸大・茨大・筑波大卒業修了制作選抜展』『とうかいきつずミュージアム』『東海村の作家展』に加え、ギャラリー空き区分の有効活用とともに近隣地域の学生へ作品展示機会を提供する『ギャラリー開放事業』として、公募により県立水戸一高美術部の展覧会を開催しました。

また、ワークショップ・アウトリーチの試みとしては、継続開催する『撮影ワークショップ』『東海村アート』『黒板ジャック』のほか、村内の学童クラブへ出向き、児童を対象に廃棄となったボール等を用いた創作活動を体験するワークショップ『リボン・アートボール』を開催するなど、地域住民がアートを身近に・気軽に体験できる機会を提供しました。

<令和3年度ギャラリー自主事業一覧>

	事業名	開催日	会場	来場者 (参加者)
鑑賞事業	芸大・茨大・筑波大卒業修了制作選抜展出品作家のその後「木でつくる」里佳孝×深澤慎太郎×槇野央	11/21(日)～12/4(土)	ギャラリーAB	880名
普及・育成事業	芸大・茨大・筑波大卒業修了制作選抜展 2021	4/25(日)～5/8(土)	ギャラリーA	414名
	とうかいきつずミュージアム 2021	7/25(日)～8/14(土)	ギャラリーAB	6,280名
	東海ステーションギャラリー開放事業「水戸一高美術部展」	12/19(日)～25(土)	ギャラリーA	-
	東海村の作家展 2022	1/8(土)～16(日)	ギャラリーA	453名
	ワークショップ「東海村アート 2021」	7/25(日)	東海駅 2階自由通路	60名
	撮影ワークショップ	12/12(日)	ギャラリーB	12名
	黒板ジャック in 東海村 2022	2/13(日)・14(月) 2/20(日)・21(月) ※日曜制作・月曜公開	東海南中学校(13・14日) 東海中学校(20・21日)	-
	リボン・アートボール ワークショップ	3/25(金)、28(月)、 29(火)	中丸学童クラブ(25日) 舟石川学童クラブ(28日) 照沼学童クラブ(29日)	123名
	芸大・茨大・筑波大卒業修了制作選抜展 2022 作品選定	令和4年1～2月	※各大学研究室への推薦依頼により選定	-
野外彫刻維持保存事業	通年	村内各地	-	

1. 施設の管理運営

東海村から指定管理を受ける村内スポーツ施設（総合体育館、東海村テニスコート、久慈川河川敷運動場、東海南中夜間照明グラウンド、東海スイミングプラザ）の予約管理及び施設の維持・保守点検を行いました。

前年度から続く新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、各スポーツ施設は令和3年8月18日から9月26日までの40日間にわたり臨時休館となったほか、それ以外の期間においても前年度から継続する感染防止対策を講じた上での施設管理運営となりました。各施設の利用人数・方法等の制限事項については、国内のスポーツ施設や各競技団体の動向を踏まえながら随時見直しを行い、必要に応じて制限の緩和を図りました。

なお、前年度は開園を見送ることとなった東海スイミングプラザについて、今年度は東海村との協議により、7月は村内および周辺地域の学校等の予約団体利用のみに限定しての開園、8月は使用日時・人数の大幅な制限や遊泳可能なプールの限定等を設けた上で、事前申込制の一般開放に踏み切りましたが、前述のとおり8月18日からの各施設臨時休館に伴い、9月10日までの期間満了を迎えることができずにシーズン終了を余儀なくされました。

(1) 利用実績

総合体育館

	令和3年度			前年度		
	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)
メインコート	272	40,131	100.0	235	23,299	100.0
サブコート	269	14,186	99.0	235	9,555	100.0
柔剣道場	263	20,808	97.0	222	15,456	94.0
弓道場	270	7,178	99.0	220	3,844	94.0
トレーニング室	265	6,374	97.0	211	4,585	90.0
使用料※	2,849,000円			2,216,560円		

※施設使用料は全額東海村へ納付

その他スポーツ施設

	令和3年度			前年度		
	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)	利用日数(日)	利用者数(人)	利用率(%)
外宿グラウンド	12	270	5.0	44	2,230	25.0
内宿グラウンド	60	4,220	24.0	77	20,458	41.0
テニスコート	266	74,463	97.0	226	66,220	94.0
スイミングプラザ	26	1,721	54.0	※休園	—	—
南中グラウンド	63	3,783	26.0	55	4,372	24.0
使用料※	3,287,400円			2,752,200円		

※施設使用料は全額東海村へ納付

(2) 維持管理運営及び環境整備

新型コロナウイルス感染症拡大による臨時休館や利用団体の活動自粛・制限等により、各施設ともに例年より大幅な利用減少となった前年度に比べ、総合体育館の各競技場やテニスコートにおいては大幅な回復が見られた一方、前年度から引き続き人数・時間制限および事前予約制により運営する総合体育館トレーニング室や、競技大会の中止・規模縮小が数多く見られた久慈川河川敷運動場(外宿・内宿グラウンド)については利用の低迷が続いています。

引き続き、感染予防対策の継続と利用制限の緩和の両立により、利用の増大を図ってまいります。

また、施設の維持管理においては、主に安全管理上に支障のある施設・設備等の経年劣化箇所の部分修繕や部品交換・更新を行ったほか、環境整備として総合体育館内トイレへのウォシュレット設置や、新硬貨に対応する各施設利用券売機の部品交換など、施設の快適性・利便性を図るための修繕に取り組みました。

加えて、コロナ禍に伴う感染防止対策の更なる充実を図るべく、施設来場者個々の体温測定を行う体温検知器1台を財団備品により整備し、来場者の体温確認等に活用しています。なお、スポーツ施設においては近年、各施設ともに経年劣化に起因する施設・設備の修繕が大幅に増大していることから、今後も施設利用者の安心・安全・快適を図るべく、計画的な施設・設備の対規模な改修・更新について東海村への要望と協議を進めてまいります。

## 2. スポーツ自主事業

### (1) 各種スポーツ教室（7事業）

競技体験のきっかけづくりや生涯スポーツの普及を目的に、村スポーツ協会加盟連盟や地域スポーツ団体との連携により開催する『チャレンジスクール』については、予定していた9競技のうち新型コロナウイルス感染症拡大の影響により3競技が中止となりましたが、弓道・卓球・バドミントン・ホッケー・剣道・スポーツウエルネス吹矢の6競技については、感染防止対策に伴う実施形態の変更や教室回数の縮減などコロナ禍に応じた実施方法を連携団体と協議した上で開催することができました。

また、効果的なトレーニング方法や機器の正しい取扱い方法を習得する機会として通年開催する『トレーニング基礎講座』は、臨時休館等による中止を除き、年間4回の開催となりました。

### (2) スポーツ活動の支援及び育成事業

継続事業として取り組むスポーツクライミングやニュースポーツの普及事業に加え、村内でホッケー競技に取り組む青少年を対象とした、国内のプロ選手による『ホッケークリニック』の開催を予定し準備を進めておりましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により各事業ともに中止となりました。

特に、『ホッケークリニック』や村内学童クラブ児童対象のニュースポーツ体験会については、開催時期や実施内容がまとまり具体的な準備を進めている最中での中止決定となったこともあり、次年度での振替開催を目指したいと考えます。

### (3) 村内のスポーツ団体との連携・協働

東海村スポーツ協会およびスポーツ少年団、『東海村スマイルマラソン』を主催するマラソン大会実行委員会の事務局として、年間を通して各活動の中核的な役割を果たしたほか、今年度から新たにスタートした村教育委員会主催による『スポーツフェスタTOKAI』の運営総指揮を受託し、開催準備・参加者受付から当日の運営まで主導的に取り組みました。なお、『東海村スマイルマラソン』については、笠松運動公園を会場に開催を検討しておりましたが、コロナ禍の影響により前年度に引き続き中止となりました。

また、東海村で活動する総合型地域スポーツクラブ スマイル東海に対し、事務局業務や各教室の対応、クラブの組織運営に携わり、全面的な支援・協力を行いました。

今後も引き続き、当財団が長年にわたり培った人脈や事業運営ノウハウ等を活用し、地域スポーツイベントの創設と活性化に取り組んでまいります。

<令和3年度 スポーツ事業一覧>

事業名	開催日	会場	参加者	
チャレンジスクール	弓道の部	5/22(土)～6/27(日):全10回	総合体育館	29名
	ジュニアホッケーの部	5/16(日)～6/20(日):全4回	東海高校ホッケー場	10名
	卓球の部	一般 6/1(火)～18(金)、 小学生 6/5(土)～7/10(土) :ともに全6回	総合体育館	計34名
	スポーツウエルネス吹 矢の部	7/17(土)～8/7(土):全4回 ※当初全5回予定、第5回は 中止	総合体育館	12名
	剣道の部	10/24(日)～12/12(日):全6回	総合体育館 東海南中学校格技場	16名
	バドミントンの部	11/10(水)～11/26(金):全6回	総合体育館	12名
トレーニング基礎講座	通年(2日間×全4回) ※当初全6回予定、第3・5回 は中止	総合体育館	計21名	

**収益事業1 公益目的外の事業**

(1) 文化芸術振興事業以外の施設の貸与

企業の社内会議・研修や文化芸術振興を目的としないホール催事(成人式等)に対する施設の貸し出しを行いました。

(2) 駐輪場防犯対策事業

東海駅東西駐輪場について、近年に引き続き東海駅コミュニティ施設管理室を拠点とする防犯カメラの映像監視・録画を行い、犯罪の抑止を図りました。

**法人運営**

東海村から指定管理を受けた施設の運営にあたり、東海村及び関係機関と連携を図り、組織体制の整備及び業務の円滑な進行に努めました。

1. 役員会の開催

項目	開催期日	議案
決算監査	4月23日	令和2年度事業報告及び収支決算報告等
第1回理事会	4月28日	第1号議案 令和2年度事業報告、収支決算報告について
		第2号議案 令和3年度第1回定時評議員会の開催について
第1回評議員会	5月14日	第1号議案 令和2年度事業報告、収支決算報告について
中間監査	11月18日	令和3年度事業・収支の中間報告等
第2回理事会	2月18日	第3号議案 令和4年度事業計画(案)、収支予算(案)について
		第4号議案 令和4年度指定管理者年度協定書締結のための各指定管理施設の事業計画書(案)及び補助金申請並びに公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律(認定法)第21条第1項に基づく事業計画書(案)及び

		収支予算(案)の提出について 第5号議案 令和4年度予算の債務負担行為の設定について 第6号議案 職員の給与、旅費、退職手当及び災害補償並びに福利厚生に関する規程の改正について 第7号議案 令和3年度第2回評議員会の開催について
第2回評議員会	3月11日	第2号議案 理事の選任について

## 2. 職員数

所属	正規	専門員	嘱託・臨時	施設	備考
事務局長	1	-	-	文化センター	芸術振興係長兼務
総務係	3	-	-		
文化振興係	3	1	-		
芸術振興係	1	-	12	駅コミュニティ施設	
スポーツ振興係	4	1	4	総合体育館	
	-	-	8	テニスコート	
合計	12	2	24		

以上